

平成19年5月通常総会



ご挨拶

社団法人安芸高田市シルバー人材センター
理事長 坪井克己

本日は、社団法人安芸高田市シルバー人材センター平成十九年五月総会を開催するにあたり、安芸高田市長 児玉更太郎さまをはじめ、ご来賓の皆さま方には公私ともに大変ご多用のなか、まけてご臨席を賜り本総会に花を添えていただきましたこと、誠にありがとうございます。

また、会員の皆さまには農繁期のご多忙のなか、多くの方々のご出席をいただき、総会を盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。

統合いたしました二年、まだまだ地域間に温度差のある中で役員皆さまには、理事会に部会並びに委員会それぞれの分野で活動していただき、組織創りを主体に事業を進めて参りました。内容につきましては事業報告書のとおりですが、特に平成十八年の事業計画でありました職群班の編成、また「見積・請負」の適正化については「見積・請負調査研究委員会」を設置し、手引の作成等に多大なご努力をいただいたところであります。

さて、最近の我が国に於ける経済情勢は、景気が若干上向きになったとはいえ、世界の不安定な社会情勢のさまざまな動きの中で雇用の不安が今なお続き、事業経営も依然として厳しい状況にあります。

こうしたなか、社団法人安芸高田市シルバー人材センターの平成十八年度事業実績は契約金額が前年度を三百五十万円下回る結果となりましたが、この要因は、長引く経済状況低迷による一般家庭からの請負額の減少や、天候不順による影響、公共・民間企業から受託していた継続の仕事の減少等が挙げられます。

安芸高田市は中山間地特有の過疎化・少子化・高齢化の地域であり、四月一日現在の人口は三万三千二百二十三人で、その内六十歳以上の人口が一万二千九百七十三人と、実に三千九百一パーセントがシルバー人口という超高齢の市であります。

我々シルバー人材センター会員は社会から支えられる高齢者ではなく、社会を支え、地域活性化の主役として無くてはならない担い手として期待される会員でありたいと願うものであります。

今後とも、組織強化を積極的に推進し、組織体制の確立を図り、シルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」のもと「安全がすべてに優先する」を念頭に置き、法律を遵守した適正な就業と、正しい見積りで発注者と適正な請負契約を結び、健康で働く意欲のある高齢者が「誰でも、何時でも、何処でも」シルバー人材センター事業に参画できる体制のもとに、安芸高田市の市民三万三千余の地域の皆さんに愛され、喜んでいただけるシルバー人材センターとなるよう会員と役員員一体となって、平成十九年度の事業計画に基づき事業の推進に取り組んで参る所存であります。

シルバー人材センターの存在意義を充分ご理解いただき、市行政並びに関係者各位の更なるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます、所信の一端を述べまして挨拶と致します。



平成19年度 事業計画

○基本方針

わが国の経済情勢は、都市部においては企業収益の改善などに拮抗がみられるとともに雇用の需要が拡大し個人消費も持ち直しつつあるといわれています。

しかしながら、地域間の回復力は、ばらつきがあり、とりわけ中山間地域に属する安芸高田市においては沿岸都市部のような景気回復が実感できないのが現状です。

そして、急速な少子高齢化は諸外国に類を見ない速度で進行しており、高齢化の進行は労働力人口の減少、年金、医療、福祉面での社会的負担の増大が懸念されます。

「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと「安全が全てに優先する」を念頭に置き、会員の組織運営の参加促進を呼びかけ、自主財源の拡充確保等、会員、役員、職員が三位一体となって、組織体制の充実と強化を図り、市民に親しまれ信頼されるセンターを目指し、次の事業計画に基づき事業を実施します。

○事業実施計画

事業の実施については、役員会、各部会、各委員会等を中心に各種会議を開催し、それぞれの計画に基づいて具体的に審議し、その計画や実施を行います。

理事会……各部会、委員会において必要な案件を具体的に執行、その他総会の議決を要しない業務等の執行に関する事項の協議

総務部会……補助金の確保、組織体制、地域班の活性化、行政機関及び関係団体との連携等

事業部会……職群班の編成・活性化、講習会の開催、見積・請負等

福祉部会……福祉・家事援助サービス事業の情報収集、講習会開催、女性会員人会促進

広報部会……市民、会員へセンター情報の提供、各種普及啓発

安全・適正就業委員会……事故の未然防止、事故後の対応、講習会の開催

平成19年度収支予算書

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

(単位：千円)

I 事業活動収支の部					
科目		本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減	備考
大	中				
	1. 事業活動収入				
	受託事業収入	189,970	197,110	△7,140	
	独自事業収入	2,755	2,595	160	
	会費収入	1,377	1,477	△100	
	補助金等収入	50,823	55,583	△4,760	国庫補助金(Ｃランク)
	負担金収入	100	100	0	
	寄付金収入	1	1	0	
	特定資産運用収入	1	1	0	預貯金の利息収入
	雑収入	51	51	0	
	事業活動収入計	245,078	256,918	△11,840	
	1. 事業活動支出				
	受託事業支出	173,200	179,700	△6,500	
	独自事業支出	2,670	2,480	190	
	安全適正就業推進費支出	3,514	4,983	△1,469	
	普及啓発費支出	1,822	2,454	△632	
	就業開拓提供費支出	19,306	17,034	2,272	
	調査研究費支出	265	868	△603	
	福祉・家事援助費支出	4,251	4,337	△86	
	ＳＰ事業費支出	0	1,098	△1,098	
	2. 管理費支出				
	人件費支出	34,039	35,951	△1,912	
	一般運営費支出	9,315	9,932	△617	
	事業活動支出計	248,382	258,837	△10,455	
	事業活動収支差額	△3,304	△1,919	△1,385	

II 投資活動収支の部					
科目		本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減	備考
大	中				
	1. 投資活動収入				
	固定資産売却収入	2	11	△9	
	敷金・保証金等戻り収入	1	10	△9	自動車リサイクル料金に伴う預託金相当額の収入
	特定資産取崩収入	4,850	6,000	△1,150	減価償却引当預金及び運営資金積立預金の取崩収入
	投資活動収入計	4,853	6,021	△1,168	
	2. 投資活動支出				
	固定資産取得支出	1,502	1,901	△399	
	敷金・保証金等支出	20	50	△30	自動車リサイクル料
	特定資産取得支出	3,000	2,000	1,000	減価償却引当預金及び運営資金積立預金へ
	投資活動支出計	4,522	3,951	571	
	投資活動収支差額	331	2,070	△1,739	
III 財務活動収支の部					
科目		本年度当初予算額	前年度当初予算額	増減	備考
大	中				
	1. 財務活動収入				
	借入金収入	1	1	0	短期借入金
	財務活動収入計	1	1	0	
	2. 財務活動支出				
	借入金返済支出	1	1	0	短期借入金返済金
	財務活動支出計	1	1	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
	IV 予備費	6,027	1,081	4,946	
	当期収支差額	△9,000	△930	△8,070	
	前期繰越収支差額	9,000	930	8,070	
	次期繰越収支差額	0	0	0	

ご祝辞



安芸高田市長 児 玉 更太郎

本日ここに、社団法人安芸高田市シルバー人材センターの総会が盛大に開催されるにあたり一言お祝いを申し上げます。

安芸高田市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の連帯、地域の活性化、そして高齢者の社会参加と生きがいの充実に取り組み、今日の発展を遂げてこられました。

このことは、ひとえに会員の皆様をはじめ、関係者の皆様並びに役職員の熱意とご努力の賜物であり、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、少子高齢化の進行のなか、安芸高田市におきましても、高齢化率三十二パーセントを超え、本格的な超高齢社会を迎えております。また、戦後の団塊の世代の退職時期が直近に迫り、益々高齢者福祉施策の必要性を感じております。

高齢者の皆様が地域においてお元気で、生き生きと、そしてご自分の能力を生かして生活していた

だくことが、安芸高田市に活力を生み出していただき、地域活性化に繋がっていくものと認識しております。

市の市政運営の基本方針である「住民と行政のパートナーシップによる協働のまちづくり」のもと、シルバー事業の基本理念でもございます「自主・自立、共働・共助」は、正に地域の一体感の醸成と地域振興を目指すものと確信いたしております。市といたしましても、

行財政改革を着実に推進していく中で、シルバー人材センター事業は、地域活性化施策、高齢者福祉施策の大きな柱として位置づけられており、できる限りのご支援をいたしたいと考えております。

終わりに、会員の皆様方におかれましては、人生の先輩として、社会や家庭から愛され、尊敬され、そしていつまでもお元気で活躍されますよう、お祈り申し上げます。お祝いのことばといたします。



安芸高田市議会議長 松 浦 利 貞

風薫るさわやかな季節を迎え、本日は、安芸高田市シルバー人材センターの平成十九年五月通常総会が、会員の皆様方多数ご出席のもと、このように盛大に開催されますことに、心からお祝いを申し上げます。

さて、我が国の経済は、好転の兆しが見え始めたとはいえ、地域経済は依然として厳しい状況に置かれております。

こうした中、安芸高田市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の就労促進と生きがい対策のための拠点として、積極的な事業を展開され、着実に業績を伸ばしておられるところでございます。これもひとえに、坪井克己理事長をはじめ、役員や会員の皆様方のご努力の賜と、深く敬意を表す次第でございます。

しかし、急速な少子高齢化により、今後、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、大きく変

化することが予測されます。数年後には、団塊の世代がシルバー時代を迎えることとなり、新しい時代を展望した事業運営が必要になって参ります。これからも、高齢者の生きがいのある社会の実現に向け、シルバー人材センターが一層重要な役割を担われ、ご発展されますことを、期待申し上げます。

シルバー人材センターにおいて、健康で働く意欲を持った高齢者の皆さんが、長年培ってこられた経験と技能を生かしながら、活力ある「地域社会づくり」に参加するとともに、自らの生きがいの充実を図っていただくようお願いいたします。併せて、安芸高田市シルバー人材センターが安芸高田市の労働の中核として、益々発展されることを祈念いたし、はなはだ簡単でございますが、お祝いの言葉といたします。本日はおめでとうござ



広島県議会議員 児玉 浩

本日は安芸高田市シルバー人材センターの通常総会におめでとうございます。

また皆様方には日頃から県政発展のためにご理解とご協力をいただいております。改めてお礼を申し上げます。また地域におかれましては会員の皆さんの豊かな知識や経験を十分に活かして頂きシルバーの活動、地域の活動に重ねてお礼申し上げます。

今朝の新聞やニュースによりますと二〇三五年の日本の人口推計、二十八年先のことでございますが日本全体の高齢化率三十三パーセントになり人口が増えるのは東京と沖縄のみとなっております。ショッキングなことです。広島県も約四十二万人減少するデータとなっております。二十八年も経つとこんなにも変わるのかと思います。昨年からの人口減社会が始まるという話も



三次公共職業安定所 安芸高田出張所 所長 早野 保夫

本日、ここに社団法人安芸高田市シルバー人材センターの平成十九年度通常総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

また、貴センター並びに会員の皆様には、平素から当所の業務運営について、格別の御理解と御協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

出ておりますように、社会から支えられる高齢者でなく、社会を支える高齢者になっていく、理事長からのご挨拶の中にもございますようにそのことに本当の重みがあると思います。今安芸高田市の高齢化率は三十二パーセントを超えていると言われます。約三十年先の日本の姿をこの安芸高田市が示している。

その意味におきましてはいろいろ厳しい状況、材料がございますが皆さんの行っておられるシルバーの活動が全国に先駆けて行われ一歩先に進んでいるとご理解されていいのではないかと思います。

シルバー人材センターのますますのご発展と皆様方のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。本日はおめでとうございます。

実な発展を遂げられるとともに、活力ある地域社会づくりに大きく寄与されてこられました。

このことは、ひとえに会員の皆様を始めとする関係者の皆様の熱意と御努力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。

さて、我が国においては、本格的な高齢社会を迎え、高齢期における就業や社会参加ニーズの一層の多様化やUターン、Iターン希望者の増加が見込まれる中で、地域における高齢者の雇用・就業機会の確保が緊急の課題となっております。

また、二〇〇七年問題、つまり団塊世代が定年退職を迎えられる時期となっており、ここ三年間で多くの方々が退職されると見込まれております。

こうした中で、政府(内閣府)においては、昨年の十二月に、フリーター、ニート、子育て中の女性、障害者、そして高齢者といったさまざまな事情や状態にある方々が、働くこと、学ぶこと、暮らすことについて、何らかの障害があれば、それを取り除く、もしくはそのための選択肢を多様化して、チャレンジしようとする方々を支援していくため、「再チャレンジ支援総合プラン」、それに伴う「再チャレンジ支援総合プラン行動計画」というものが策定されています。簡単にいえば、誰にでも再チャレンジできるような社会の仕組みを実現しようという取組であります。

これを高齢者に限って言えば、昨年、四月一日に施行された改正高齢者雇用安定法に基づき、すべての事業主に六十五歳までの高齢者雇用確保措置、つまり、定年の引き上げや継続雇用制度の導入などが段階的に義務づけられたところであり、さらに、

この確保措置の円滑な実施及び充実を図ることで、「七十歳まで働ける企業」を推進し、高齢者が年齢にかかわらず働くことができる社会の実現に向けて、環境整備に努めることとしています。

また、この「再チャレンジ支援総合プラン行動計画」の中には、シルバー人材センター事業並びにシニアワークプログラム事業が重要な支援策として挙げられており、「六十歳以上の労働力人口を二〇一五年に百六十万人増加」という目標が定められるとともに、プランの個別行動計画において、「シルバー人材センターの会員数を二〇一〇年度までに一〇〇万人」という目標が定められています。

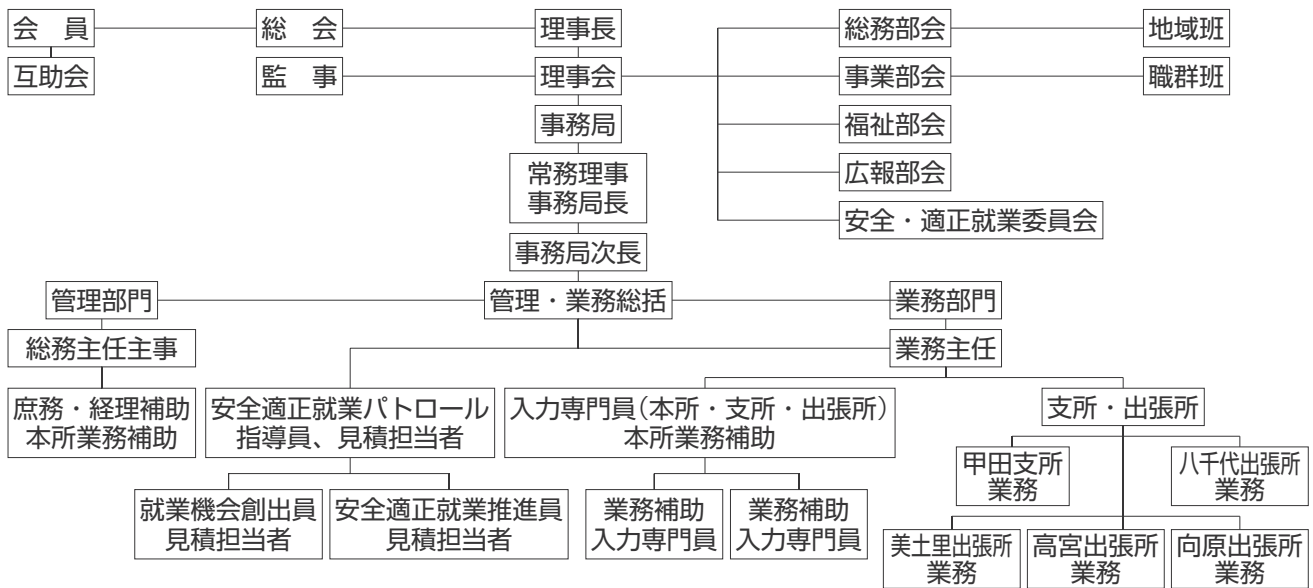
このようなことから、シルバー人材センター事業が、働き方、学び方、暮らし方についての選択肢を多様化するため、高齢者・団塊世代の活躍の場の拡大などを推進する重要な施策の一つとして位置づけられ、「自主・自立、共働・共助」の理念を持つシルバー人材センターは、ますます地域社会になくてはならない存在になっているところと見えます。

当所としても、引き続きシルバー人材センター連合会が実施する高齢者の雇用就業を支援するためのシニアワークプログラム地域事業について協力をを行うとともに、貴センターと緊密な連携を図って、シルバー人材センター事業の発展のために努力して参りますので、皆様におかれましては、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴センターの今後益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

社団法人安芸高田市シルバー人材センター組織図

平成19年4月20日現在



小田東小学校児童と交流

6年生の総合学習の時間に、～シルバー人材センターの活動を通して～というテーマで勉強をするということで6月11日に職員3名が訪問してきました。

シルバー人材センターの会員さんは、豊かな知識・経験・技能を活かして仕事をすることによって「生きがい」をもち、地域社会に貢献しているということを説明しました。18名の子供達のキラキラした目が、印象的でした。



★いくつか質問を紹介します★

Q1 会員さんは、お年寄りだけがいるのですか？

A. 安芸高田市に住んでいる60歳以上の人、元気で働く意欲のある人が、会員になっています。

Q2 どんな仕事をしていますか？

A. 草刈り、草取り、剪定などが多いです。

Q3 仕事をする時、どんなことに気をつけていますか？

A. 安全第一です。特にこれから暑くなると、熱中症などに気をつけなければいけません。

★子供達の感想★

- ・シルバー人材センターの会員さんは、頼まれたことをちゃんとしているのでごいなあと思いました。
- ・人への思いやりがみんなすごいなあと思いました。
- ・ぼくも60才をすぎたらみんなと仲良くして町をきれいにしていきたいです。
- ・私も元気なおばあさんになれるかなあと思いました。

最後に子供達のおじいさん、おばあさんに“ぜひシルバー人材センターに入ってもらうよう宣伝してください”と話してきました。

知事表彰(連合会理事10年) (18年12月受彰)

理事長 坪井克己



シルバー人材センターの事業を通じ高齢者の就業会の確保に尽力した功績による。

県警本部長(19年6月受彰)



安全運転管理体制の整備と適切な管理業務を推進し交通事故防止に貢献したその功績による。

平成19年度事業計画

※各支部の事業計画は、次のとおりです。

支部名	事業計画
吉田支部	7月7日 グラウンド・ゴルフ大会
	10月7日 グラウンド・ゴルフチャンピオン大会予選会
	13日 予備日 10月下旬～11月下旬 親睦研修会
甲田支部	4月 花見
	10月 グラウンド・ゴルフ大会 11月 親睦研修会
八千代支部	10月 グラウンド・ゴルフ大会
	12月 親睦研修会
美土里支部	10月 グラウンド・ゴルフ大会
	12月 研修会、親睦会 2月 料理教室
高宮支部	10月 グラウンド・ゴルフ大会
	12月 親睦研修会
向原支部	8月 グラウンド・ゴルフ大会
	10月 グラウンド・ゴルフ大会
	11月 親睦研修会

す。よう取り組んでいきたいと思いま

のものとで創意工夫をしながら、全

市的な、親睦・融和が促進される

厳しい財政状況

多忙な日常、

多忙な日常、

厳しい財政状況

多忙な日常、

多忙な日常、

多忙な日常、



（社）安芸高田市シルバー人材センター会員互助会
会長 春日 信次

会員互助会の活動状況

シルバー入会の動機には、「健康」「社会参加」「経済的効用」等々、さまざまあると思います。高齢化社会の到来を迎えて、シニア世代の自立と社会参加が一層期待されています。第二の人生、意義あるものにしたいたいです。仲間と協調し、安全に就業するためにはある種の緊張感が必要であり、老化防止にも効果があります。行事への参加やボランティア活動などは自身の生き甲斐づくりともなります。「一笑一若、一怒一老」の例えもあり、若返り、ストレス解消にも役立ちます。まだまだ人生若輩もの、心身ともに健康で新たなモチベーションにアタックしようではありませんか。

地域だより

家事援助に携わって

四月のある日、シルバー人材センターのコーディネーターの方から「産後の家事のお手伝いをお願いしたいのですが」と電話がかかりました。私もお役に立つかしらと不安でしたが、炊事、洗濯だったらできそうと、お手伝いをさせてもらうことにしました。



家庭の様子を前もって知っておきたいと、コーディネーターの方と一緒に、お家を訪ねし色々とお話を聞かせて頂きました。いよいよ今日からお手伝い、赤ちゃんの元気な姿が目に飛びいっそう元気が出てきます。

料理はどのように味付けすれば子供さん達にもおいしく食べてもらえるのか、色々考えながら心をこめて一生懸命に作りました。洗濯物も小さいものはよじれているので、それを伸ばすのに時間がかかり、又直射日光を受けて干すので汗が顔を流れ、目に入るのを拭きながら少しでも時間をかけないようにと、がんばったものです。

秋田矩枝

甲田

甲田支所には、特別な特色はないが強いとあければ小原地区において、安芸高田市より無形民俗文化財の指定を受けている大土山田楽園による「大花田植え」が毎年六月の第一日曜日に華やかに行われています。

この「大花田植え」は、電線がないことからカメラ愛好家に評判となり団体バスで来甲されますが、食堂がないことから地区会員に仕出し弁当作りを依頼されたことがきっかけとなり、地区の会員が「あじさいの会」を結成し弁当作りを始めました。今回は、会長以下九名が前日から準備を行い、当日は午前六時から弁当作りを始め「むすび弁当」を六十五食、「ばら寿司弁当」百七十食、「稲荷寿司弁当」は五十八食分作りました。



平栗悦子

八千代

色々な事があります。

市の上水道の使用量検針を始めて数年になります。二ヶ月に一度の訪問ですが、私が行くのを心待ちにしているいろんな話を下さる人もあります。

時には鎖が切れた犬に追いかけられビックリ!
今では手なずけてニンマリというところでしょうか。



水洩れをお知らせしても、もう何年も同じだからとなかなか信用してもらえないことも……でも修理されたら三分の一となり料金が安くなったと感謝されたこともあります。
良い事ばかりではありません。屋根下のメーターボックスを一メートルも積った雪をかきわけて探した一月検針、梅雨明けのジリジリの炎天下を歩く七月検針と頑張っている昨今です。

上岡 晃

美土里

「本当に助かりました。」
安心した様子で話されたのは、先日草刈りをさせていただいたMさん。
下見に行かせてもらった時、「私も腰痛がありますからネ。草が伸びてくると気になって、気になって。」と、本当に困られた様子でしたが、喜んでいただいで、こちらでも嬉しく思いました。

高齢化が進む美土里町では、こういういた依頼がほとんどで、高齢者が高齢者を支えていくという現状です。

これから、暑くなるにつれ、草刈り、剪定も最盛期に入ってきてます。会員の皆様には、身体に気をつけ、無理をせず、就業していただきたいと願います。
土居森祥会



高宮

会員活動の現状について

高宮地域では去る六月二十二日職群班の草刈り、剪定の各正副班長会議を開いた。三時間余に及ぶ意見交換となった。世間でも話題となる高齢化時代の反映で農家における労働力の衰退と意欲の喪失が進んでいる中で、会員への期待も高い一方で、経済力(年金頼り)の減も考えられ、見積り額の上昇等による発注者のとまどいも感じられ、職群班長を悩ます場面も多いと聞かされた。会議も遠慮気味な意見も出る反面、会員の労働対価も安価に設定するにも限度があり、今後草刈りに限定して早急に検証を必要と感じた次第です。

藤川 操



向原



今年度より支所、出張所の事務局体制が一人となりました。会員の皆様をはじめお客様には、大変ご迷惑をおかけしていることと思えます。

作業に着手する前に作業代金を見積ることとなりましたので、草刈り作業の場合、面積を算出するのに測定器を使って、見積担当者と現場に向かっています。時には、ヘビ等が出て腰を抜かしたこともあります。日々見積の勉強をして、一日も早く、見積の積算が一人立ちできるよう頑張っています。

吉野美知子

シルバーフェア広島“2008” inふくやま

- 開催日時
平成20年2月2日(土) 10:00~16:00
- 開催場所
広島県立ふくやま産業交流館 C・Dホール
- 催事内容
会員作品展 独自事業紹介 会員手作り品販売
地域特産品販売 SP事業実演 (介護実習、パソコン)
リフォーム・ファッションショー シルバー事業の紹介 等

(社)安芸高田市シルバー人材センター会員による「地域安全見守り活動」について(お願い)

新聞等の報道でご存じのとおり、小・中学生が下校時に、不審者に襲われる事件や未遂が全国的に発生しています。安芸高田市市内においても、『声かけ事案』が発生しました。シルバー人材センターとしても、「子ども達のため」・「地域のため」に活動したいと考え、地域防犯の手伝いを現在実施しております。地域の安全(見守り)に協力(活動)いただける方は、再度各拠点事務所へ『腕章』を準備しておりますので、お手数ですが取りにきていただき、地域を見守っていただきますようお願いいたします。



安全就業強化月間 7/1~7/31

- 安全標語の募集
- 安全適正就業講習会 (県労働協会三次支部)
- 交通安全指導講習会 (安芸高田警察署)
- 安全パトロール



安全パトロール実施中

事務局だより

会員募集中

○安芸高田市内に居住され、原則六十歳以上の働く意欲のある健康な方なら、どなたでも会員になれます。(年会費一五〇〇円)
○入会説明会
十九年六月から毎月十五日(土・日・祝祭日はその翌日)に変更(本所)

パティナーフック同好会は

今年で約七年になります。

第一木曜日と第三木曜日に開催しています。

同じ趣味の人の集まりで自分たちの作りたい作品を指導の先生にお願いして仕上げています。年に二回シルバーフェアと甲田町の芸術祭に展示しています。休憩時には主婦ですので漬物の仕方とかおかずの作り方とか色々勉強になります。

今は人数が少ないのでやってみたい方歓迎します。
(甲田)



チップ堆肥の販売

20ℓ 袋 200円 40ℓ 袋 350円



※軽四ダンプ1台 3000円で
※広島市近郊の配達サービスは、50袋以上のご注文とさせていただきます。

花・野菜苗の販売



花・野菜の苗 市価の3~4割安で好評発売中。皆様のご注文をお待ちしています。

編集後記

社保庁の年金記録漏れ、牛肉加工品偽装事件等々真剣、真面目さが欠落しているように受止めています。市シルバーは事務局体制を従来の支所三名、出張所二名から十九年度においては止むを得ず支所、出張所一名にし、出張所においては水曜日(勤務しない日)と定め閉所しています。良策とは考えませんが、現下の諸般状況の許す範囲で工夫したものです。さらに職員間の連携を図り乍ら、意志の疎通を密にするため本所へ週一日勤務することとし約四ヶ月が経っております。

事業部会においては見積、請負について調査研究委員会を設置、剪定の手引き、除草作業の手引き等見積、請負の準備も整い、現場で下見が出来る形式についても理解を得られるような取組姿勢も確立したところです。

細かくは偽装請負、発注者から命令指揮を受けていないか等、法律に抵触しない範囲で会員が頑張り、励み、前進したいものです。時化の海に立往生し航行出来るか不安な一面はあると思いますが、よろしくご協力下さい。
広報部会

お悔やみ
吉田町 木下義雄様(8月4日)
向原町 西岡昭治様(3月28日)
謹んで哀悼の意を表します。